

大分県クールジャパン推進イニシアティブ

平成28年12月9日 大分県

目次

1. 本イニシアティブの目的
 2. 「温泉（Onsen）×大分の魅力」等の連携による発信・展開
 3. 「外国人視点」による大分県の魅力の再発見・効果的展開
 4. クールジャパン拠点の連携推進
 5. 大分県の魅力をプロデュースする
 6. クールジャパン相談窓口の明確化
-

1 本イニシアティブの目的

東京オリンピック・パラリンピック競技大会が行われる2020年に向け、大分県においては、2019年のラグビーワールドカップが開催され、また、2018年の世界温泉サミット開催も検討されているところであり、世界の関心が日本に集まり、大分県においても訪日外国人の大幅な増加が見込まれる。

今こそ、こうしたチャンスを最大限生かし、温泉や、農業文化、食文化、環境に優しい自然エネルギー等、大分県の魅力を効果的に世界に発信し、大分県の魅力や優れたシーズと海外のニーズを結びつけ、大分県のクールジャパンを促進していくことが重要である。

本イニシアティブは、政府のクールジャパン戦略と連携し、また、大分県版クールジャパン推進会議（2016年11月13日開催。以下「会議」という。）における議論の内容を踏まえ、世界の成長を取り込んで大分県の活性化・持続的成長につなげていくための指針である。

また、昨年改定された「大分県海外戦略（2015～2018）」や「日本一のおんせん県おおいたツーリズム戦略2015」をクールジャパンの視点から効果的に運用していく上での視点を提供するものとしても位置付けることとする。

2 「温泉(Onsen)×大分の魅力」等の連携による発信・展開

「おんせん県」としてのブランドを更に高めることと合わせて、大分の「味力」、「循環型の豊かな農業や里山」、「温泉を生かした産業」等の魅力が、分野の垣根を超えた連携によって「オール大分」のブランドとして海外に一層強く訴求するよう、効果的に発信し、展開していく。

例えば、ジェットロや、様々なクールジャパンの海外展開を後押しするクールジャパン機構（株式会社海外需要開拓支援機構）と民間のプレイヤー、県・市町村・政府の機関等が一層緊密に協力し、①県内温泉地等へのインバウンド推進、②大分産品の海外展開、③①・②を促進するための対外情報発信、等の各段階の様々な取組の相互連携を組成しつつ、それらの流れとしてつなげていくことが重要である。

また、そうした際には、情報発信、商品・サービス提供、体験など、顧客との全ての接点を「デザイン視点」¹で設計・編集し魅力を高めることも重要である。

例えば、ロボットスーツによる世界最先端の歩行トレーニングと温泉観光を組み合わせたメディカルツーリズムの取組や温泉を活用した化粧品開発による観光浮揚・経済活性化等の取組があるが、このような「温泉×地域の魅力」等の連携の取組を更に展開していくことが求められる²。

3 「外国人視点」による大分県の魅力の再発見・効果的展開

海外には、日本の文化、食、ファッション等が大好きな「日本ファン」の外国人が数多く存在する。こうした「日本の魅力」は、海外の人たちが「クール」として受容したものであるが、日本人がそう感じていない場合も往々にしてある。逆に、日本人が「日本の魅力」と思うものをそのまま海外に出しても、価値観の押しつけになって海外で受容されない場合があり得ることも注意しなければならない。こうした観点から、クールジャパンを海外に向けて発信・展開する際には、日本ファンの外国人や影響力のある外国人と協働することが効果的である。

大分県は、約 80 か国・地域から約 3,400 人の留学生を抱え、大学・高専に在籍する留学生数が人口当たりでは全国トップである。留学生は複数年にわたり大分県に滞在し、大

¹ ここで言うデザインは、意匠を意味する狭義のデザインではなく、顧客の目線から商品・サービス等の「機能価値」（品質や性能など）と「感性価値」（意匠や質感など）を統合的に設計し、両者を高い水準でバランスさせる広義のデザインを意味する。例えば、個々の商品・サービスのプロデュース、インバウンド観光体験の設計の際に、顧客の顕在・潜在ニーズから出発して、それらを効果的かつ洗練されたものとしていくこと。

² 地域連携としては、世界から人材が集まる立命館アジア太平洋大学と地域の金融機関とが協力したハラル対応のあり方の研究がなされているなど、大学や地域の金融機関を中心とした取組もなされている。

分県民や比較的短期間滞在する外国人観光客が気づかないような、大分県に生活する外国人目線ならではの分県の魅力を認識している場合も多いと考えられる。留学生や外国人卒業生のネットワークを広く大分の魅力の発信に活用することに加え、「大分の魅力」を、海外の人により幅広く「クール」と受容してもらえるよう、留学生を含む外国人の目線で再編集していくことも重要である³。例えば、留学生が企画から実際の制作、出演まで自ら行う大分県の PRGM などがあげられる。

大分県のインバウンドや関連産業を支える温泉については、母国との入浴文化の違いに戸惑う外国人も少なくないことから、国内外の政府・観光・温泉等の関係者が一堂に会す国際会議を大分県内で開催することなどを通じて、日本の入浴文化そのものへの理解、関心を醸成して外国人の温泉ファンのすそ野を広げ、リピーターの増加につなげることが重要である。このことが、「温泉（Onsen）×大分の魅力」等の連携によりインバウンドや大分産品の効果的な海外展開を行っていくための基盤を確かなものにするにもつながると考えられる。

■ 大分県から政府「クールジャパン・アンバサダー」を登録

内閣府においては、各分野で発信力のある日本ファンの外国人などに海外への情報発信・普及について協力を仰ぐ取組を束ね、更なる情報発信及びそのフィードバックを行うため、平成 28 年 9 月現在で 37 名を「クールジャパン・アンバサダー」に登録している。大分県版クールジャパン推進会議（2016 年 11 月 13 日）においては、これらアンバサダーのネットワーク等を通じて大分県の魅力の発信等を担ってもらうことを期待し、大分県から推薦した、

・ ポール・クリスティー氏（Walk Japan CEO）

がクールジャパン・アンバサダーとして登録された⁴。

さらに、外国人のニーズを的確に捉え、大分の地域資源を海外展開につなげていくためには、地域の間人が自らの地域の魅力を理解したうえで、外国人等と活発に交流をしていく必要がある。

4 クールジャパン拠点の連携推進

大分県においても、クールジャパンの情報発信機能や、人材育成・産業創出機能を担う優れたクールジャパン拠点が数多くある。

³ 会議では、近年、地元の人が集まるような居酒屋等での食事など地域に根差した場所、食事を求める訪日外国人観光客も多いことから、旅館の宿泊と食事を必ずしもセットとしない泊食分離や海外目線の食のメニュー構築などチャレンジと変化を続けていくことも重要であるという意見もあった。

⁴ ポール・クリスティー氏は自ら国東半島で伝統的な里山の生活を実施し、海外からの旅行者ともその体験を共有している。

■ 大分県の主なクールジャパン拠点所在地

- ・ 温泉（別府、由布院、日田など県内16市町村）
- ・ 国東半島宇佐地域（宇佐神宮、世界農業遺産、開山1300年近い六郷満山文化）
- ・ 豊後大野市・姫島村（日本ジオパーク）
- ・ 日田（咸宜園、豆田町）
- ・ くじゅう（夢大吊橋、九州オルレ、高原）

これらの拠点相互の連携・ネットワーク化による相乗効果を活用し、各拠点が持つ潜在力が「面」として最大限発揮されていくことが経済成長に資するものである。

特に、知名度の高い別府・由布院と他の地域の拠点との間の連携や、県内の拠点と外国人観光客を多く集める他県の拠点との間の一定のストーリーのもとでの連携が重要である。また、拠点間の連携が、各拠点の情報発信機能に加え、人材育成・産業創出機能を高めるような形で行われることが効果的である。

また、海外には、クールジャパン機構が出資している「ジャパン・モール」をはじめとした日本産品を広く扱う商業施設等のクールジャパン拠点が存在し、2017年に3か国に創設される予定のジャパンハウスなど、政府関係機関のクールジャパン拠点の機能も一層充実しつつある。

大分県の多様なクールジャパン拠点が、海外展開やインバウンドの促進を県外あるいは海外の他の拠点とも有機的な連携を深めていくことが重要である。

5 大分県の魅力をプロデュースする

大分県には、各地域で育まれてきた郷土料理や日本酒、伝統的工芸品をはじめとして、クールジャパン資源としての潜在力があるものが数多く存在するが、有効に活用されないものもある。地域に眠るクールジャパン資源を発掘し、それを集積・編集して新たな価値を付与する（キュレーション）ことを通じて、海外で受け入れられるような「商品」になるようプロデュースしていくことが必要である。また、その際には、その商品や文化の背景にあるストーリーを海外の人にもわかりやすく伝えることも効果的である。

大分県は、県内に広く分布する豊かな温泉地に加え、多様な自然、豊富な山海の幸と名水、宇佐神宮などの4つの国宝⁵・文化財群、魅力的な宿泊施設・観光施設がある。また、

⁵ 宇佐神宮、富貴寺大堂、臼杵磨崖仏、孔雀文磬

（宇佐神宮）・・・4万600社あまりのお社がある八幡神社の総本宮。

（富貴寺大堂）・・・平安時代に宇佐神宮大宮司の氏寺として開かれた由緒ある寺院にある阿弥陀堂（富貴寺大堂）は現存する九州最古の木造建築物である。

（臼杵磨崖仏）・・・豊後地方に集中して存在する平安時代の磨崖仏のなかで最大の規模を誇り、かつ出来ばえが最も優れた石仏群として広く知られている。

伝統的工芸品（別府竹細工）、地域団体商標を持つ関あじ、関さば、大分麦焼酎／大分むぎ焼酎、おおいた豊後牛、小鹿田焼、玖珠米、中津からあげ、豊後別府湾ちりめん、日田梨、豊後きのこカレー、岬ガザミ等様々なクールジャパン資源を有する。既存の地域資源や未だ見出されていない地域資源と県全体・日本全体の魅力とをつなげて海外に訴求できるよう、全体的な視点でプロデュースすることが効果的である⁶。

さらに、国や年齢層等により求めるものが異なるため、ターゲティングやマーケティングを行うことも重要である。

■ 大分県から政府「地域プロデューサー」を登録

内閣府においては、地方におけるクールジャパン資源を発掘して海外展開やインバウンドにつなげていくために必要なキュレーション能力・プロデュース能力を持った人材のリスト化を進め、情報提供を行うとともに、日本全体としての視点を共有できるように地域プロデューサーをネットワーク化する取組を行っている（平成28年9月現在、31名の地域プロデューサーが登録されている）。

大分県のクールジャパン資源の発掘、プロデュースを、政府の取組とも連携しつつ担ってもらうことを期待し、大分県が推薦した

・西田陽一氏（おんせん県観光誘致協議会会長）

が大分県版クールジャパン推進会議（2016年11月13日）において地域プロデューサーに登録された⁷。

今後大きな価値を生み出していくような大分県の様々なシーズを育て、開花させていくために、できるだけ多くの主体が、外国人のニーズを的確に捉え、シーズとしての地域資源をニーズに合うように編集・発信し、展開するプロデューサーとしての役割を果たしていくことが重要である。また、地方や国のクールジャパン関係者とこれらのプロデューサーの官民・業種を超えたネットワークを一層密にしていくことが求められる。

6 クールジャパン相談窓口の明確化

事業者や個人等が、大分の魅力の発信、インバウンドの推進、大分産品の海外展開等のクールジャパンの取組を進めていく上での政府や関係機関の相談窓口の整備が進んでいるところ、これを以下に明確化し、クールジャパンの取組・連携等の組成活発化に資すること等を期待する。

（孔雀文馨）・・・雄大・荘重な形姿など銅馨の中でも逸品であるとともに、その製作時期、施入者などがほぼ明らかであり史料的にも貴重。宇佐神宮の宝物館に展示。

⁶ 会議では、伝統的工芸品（別府竹細工）について、約80年の歴史をもち、後継者を排出している職業指導学校は人気ではあるが、国内事業にとどまらず、海外への投資を含む外へ向けての新たなチャレンジを求めたいとの意見があった。

⁷ 西田陽一氏は、大分県の観光事業の活性化のため「おんせん県観光誘致協議会」の立ち上げに携わるとともに、大分県の魅力発信につながる取組のプロデュースを行っている。

【大分県における総合的な窓口】
<p>(独) 日本貿易振興機構 (ジェトロ) 大分事務所 URL: https://www.jetro.go.jp/jetro/japan/oita/ TEL: 097-513-1868</p>
【大分県庁の窓口】
<p>(観光事業展開 (インバウンド) に係る相談について)</p> <p>企画振興部観光・地域局観光・地域振興課 TEL: 097-506-2119</p>
<p>(農林水産物の輸出促進に係る相談について)</p> <p>農林水産部おおいたブランド推進課 TEL: 097-506-3631</p>
<p>(貿易全般について)</p> <p>商工労働部商業・サービス業振興課 TEL: 097-506-3289</p>
<p>(大分県海外戦略全般について)</p> <p>企画振興部国際政策課 TEL: 097-506-2047</p>
【政府の窓口】
<p>(政府のクールジャパン支援施策等に係る総合案内)</p> <p>内閣府知的財産戦略推進事務局 クールジャパン戦略担当 URL: http://www.cao.go.jp/cool_japan/index.html TEL: 03-3581-2549</p>
<p>(観光事業展開 (インバウンド) に係る相談について)</p> <p>九州運輸局 観光部 観光地域振興課 URL: http://www.mlit.go.jp/kankocho/shisaku/kankochi/madoguchi.html TEL: 092-472-2920</p>
<p>(中小企業の海外展開支援のための相談について)</p> <p>九州経済産業局 国際部 国際課 URL: http://www.kyushu.meti.go.jp/consult/kaigaitenkai.html TEL: 092-482-5423</p>
<p>(農林水産物の輸出促進に係る相談について)</p> <p>農林水産省輸出促進課 輸出相談窓口 URL: http://www.maff.go.jp/j/shokusan/export/ TEL: 03-6744-7155</p>
<p>(訪日プロモーション事業に係る相談について)</p> <p>観光庁国際観光課 URL: http://www.mlit.go.jp/kankocho/shisaku/kokusai/vjc.html TEL: 03-5253-8111</p>

【海外事業展開への資金供給に係る相談窓口】

クールジャパン機構

URL: <https://www.cj-fund.co.jp/>

TEL: 03-6406-7500 (機構について) / 03-6406-7675 (投資について)

日本政策金融公庫 大分支店

URL: <http://as.chizumaru.com/jfc/detailMap?account=jfc&accmd=0&bid=148>

TEL: 097-535-0331 (国民生活事業部) / 097-532-8491 (農林水産事業部) /
097-532-4106 (中小企業事業部)

J-LOP 事務局

URL: <https://jlop.jp/>

TEL: 03-3248-5582

一般社団法人放送コンテンツ海外展開促進機構 (BEAJ)

URL: <https://www.beaj.jp/>

TEL: 記載なし

以上

別添参考資料

- (参考資料 1) 大分県及び政府の海外展開やインバウンドに係る戦略等の一覧
- (参考資料 2) 政府のクールジャパン施策概要
- (参考資料 3) 政府のクールジャパン施策一覧 (官民協働イニシアティブより)
- (参考資料 4) 政府のクールジャパン・アンバサダー一覧
- (参考資料 5) 政府の地域プロデューサー一覧

大分県及び政府の海外展開やインバウンドに係る戦略等の一覧

所 管	海外展開やインバウンドに係る戦略等
大分県	<u>大分県海外戦略（2015～2018）</u> http://www.pref.oita.jp/soshiki/10140/kaigaisennryaku2015.html
大分県	<u>日本一のおんせん県おおいたツーリズム戦略 2015</u> https://www.pref.oita.jp/soshiki/10820/tu-rizumusennryaku2015.html
内閣府	<u>クールジャパン戦略官民協働イニシアティブ</u> http://www.cao.go.jp/cool_japan/kaigi/senryakusuishin/senryakusuishin.html
内閣府	<u>クールジャパン拠点構築検討会（中間とりまとめ）</u> http://www.cao.go.jp/cool_japan/kaigi/kyoten_koutiku/kyoten_koutiku.html
内閣府	<u>日本産酒類の輸出促進に向けた課題及び対応方針について</u> http://www.cao.go.jp/cool_japan/kaigi/syurui/syurui.html
農林水産省	<u>農林水産業の輸出力強化戦略</u> http://www.maff.go.jp/j/shokusan/export/e_kyouka_senryaku/h28_senryaku.html
観光庁	<u>明日の日本を支える観光ビジョン</u> http://www.mlit.go.jp/kankocho/topics01_000205.html

政府のクールジャパン施策概要

情報発信

- イベントカレンダー
- CJアンバサダー

海外展開

- ジェトロによる支援
- CJ機構による出資
- プロデューサー派遣
- CJ地域プロデューサー

インバウンド振興

- 地域資源の磨き上げ

分野横断

コンテンツ

- 放送コンテンツ海外展開支援
- コンテンツのローカライズ・プロモーション支援
- コンテンツフェスティバル開催

食

- 国際空港で日本産酒類PR
- 日本産食材サポーター店

- 食と農の景勝地
- 酒蔵開放・酒蔵体験

文化等

- 現代アート出展支援
- メディア芸術データベース

- 日本遺産の拡充
- エコツーリズムの推進

拠点等

- 在外公館
- ジャパン・ハウス
- CJプラットフォーム
- JNTO
- 道の駅、海の駅

政府のクールジャパン施策一覧

	情報発信	海外展開(海外で稼ぐ)	インバウンド振興	地方の魅力の発掘・発信
分野横断	<p>日本ファンの外国人との協働</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 外国人等をアンバサダーとしてネットワーク化【内閣官房、財務、農水、経産、国交】 ● 外国人・海外メディア等の招へい【外務、経産、国交】 <p>各運媒体・施設を活用した情報発信の紹介【国際広報室】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 在外公館を活用した日本の魅力の発信【外務、農水、内閣官房、財務】 ● ジャパン・ハウスの活用等による、日本に関心を有していない人層をも対象にした情報発信【外務】 ● CJ機構出資事業を活用したクールジャパン・高村・観光情報の発信【経産、国交】 <p>イベントの重ね合わせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● クールジャパン関連イベントの取りまとめ【内閣官房、関係府省】 ● 民間による拠点構築への支援【総務、文科、経産、農水】 	<p>海外展開(海外で稼ぐ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 官民連携プラットフォームの創設 ● プロジェクト組成、マッチング等を目的とした官民連携によるプラットフォーム組成【内閣官房、関係府省】 ● クールジャパン関連企業の海外ビジネス支援 ● ジェトロによる海外見本市出席やビジネスマッチング【経産】 	<p>道の駅等の活用による地域資源の発信・体験</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 道の駅、地域の海外発信拠点としての活用【国交】 <p>訪日外国人旅行者への継続的な情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ● JNTOのFacebookページの活用【国交】 ● 国立公園ウェブサイトの充実【環境】 <p>訪日外国人旅行者向けの無料WiFi環境整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 一度の登録でサインインできる仕組みの構築【総務、国交】 <p>観光資源の一体的な磨き上げ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 地域の観光資源の磨き上げ【国交】 	<p>クールジャパン相識・支援体制強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 地域プロデューサーのリスト化・ネットワーク化【内閣官房、農水、経産、国交】 ● プロデューサー派遣等による地域資源の磨き上げ【経産、国交】 ● ジェトロ・地方自治体等との連携を通じた地域のクールジャパン相識窓口の整備【経産】 <p>CJ機構と連携した中小企業等支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ● CJ機構の出資案件となりうる企業の発掘、CJ機構の出資事業との連携【経産】
	<p>映像コンテンツ等の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 放送コンテンツ海外展開支援によるクールジャパン資源の発信強化【総務、外務、経産、国交】 ● 日本のロケ地情報の集約【文科、国交】 <p>イベントの重ね合わせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● コンテンツフェスティバルの開催【経産】 ● フィルムスクールへの留学等支援【経産】 ● 実演家やアーティストの海外派遣【文科】 ● CJ機構出資事業を活用した人材プラットフォームの構築【経産】 <p>国際空港での日本酒・焼酎のPR【内閣官房、国交、財務】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 主要国際空港での日本酒・焼酎のPR【内閣官房、国交、財務】 	<p>他分野・他産業と連携した放送コンテンツの海外展開</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 関係府省や異業種を含む周辺産業と連携した放送コンテンツの制作・発信支援【総務】 <p>コンテンツの現地化・プロモーション支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ● コンテンツの字幕付与・吹き替え等や、見本市出席等支援【経産】 ● 純国産アパレル商品への認証ラベル付与【経産】 <p>商品・デザイン等の品質認定</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 日本食レストランの推奨 ● 日本食材等を扱う海外日本食レストランの認定【農水、内閣官房】 ● 日本産食品の認定 ● 日本産食品の認定制度の検討【農水】 ● 日本産酒類の地理的表示制度等の見直し【内閣官房、財務】 	<p>食と農山漁村の観光資源としての活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 地方の食と農を「食と農の集積地」として結び付け、観光資源として活用【農水、国交】 ● 日本酒の観光資源としての活用 ● 酒蔵開放や酒蔵体験等の実施【内閣官房、国交、財務】 	<p>地方の文化的魅力の発信・交流</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 「日本遺産」の拡充【文科】 ● 文化プログラムの推進【文科、外務】 ● ホストタウンの推進【内閣官房】
食	<p>国際空港での日本酒・焼酎のPR【内閣官房、国交、財務】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 主要国際空港での日本酒・焼酎のPR【内閣官房、国交、財務】 	<p>日本食レストランの推奨</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 日本食材等を扱う海外日本食レストランの認定【農水、内閣官房】 ● 日本産食品の認定 ● 日本産食品の認定制度の検討【農水】 ● 日本産酒類の地理的表示制度等の見直し【内閣官房、財務】 	<p>食と農山漁村の観光資源としての活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 地方の食と農を「食と農の集積地」として結び付け、観光資源として活用【農水、国交】 ● 日本酒の観光資源としての活用 ● 酒蔵開放や酒蔵体験等の実施【内閣官房、国交、財務】 	<p>地方の文化的魅力の発信・交流</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 「日本遺産」の拡充【文科】 ● 文化プログラムの推進【文科、外務】 ● ホストタウンの推進【内閣官房】
文化等	<p>映像コンテンツ等の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 現代アートへの出展支援や顕彰等【文科、外務】 ● メディア芸術等のアーカイブ構築 ● 「メディア芸術データベース」の内容充実【文科】 ● デザイン分野等のアーカイブ中核拠点の形成支援【文科】 	<p>地域の自然の観光資源としての活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ● エコツーリズムの推進【環境】 ● 文化財等に関する外国語解説の推進 ● 文化財の英語での情報発信支援【文科、国交】 ● 国立公園の統一性・連続性ある標識等の整備【環境】 	<p>地域の自然の観光資源としての活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ● エコツーリズムの推進【環境】 ● 文化財等に関する外国語解説の推進 ● 文化財の英語での情報発信支援【文科、国交】 ● 国立公園の統一性・連続性ある標識等の整備【環境】 	<p>地方の文化的魅力の発信・交流</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 「日本遺産」の拡充【文科】 ● 文化プログラムの推進【文科、外務】 ● ホストタウンの推進【内閣官房】

クールジャパン・アンバサダー① (H28.11現在)

	名前 (敬称略)	肩書き	出身	居住地		分野
				国	都市	
1	クリス アシユトン	William Reed Business Media 社 イベントダイレクター	英国	英国	ロンドン	食・日本酒
2	風戸 正義	(一社) 国際すし知識認証協会 代表理事	日本	日本	千葉	食
3	桐谷 エリザベス	ジャーナリスト	米国	米国	ボストン	文化
4	熊倉 功夫	静岡文化芸術大学 学長 / (一社) 和食文化国民会議 代表理事 / 会長	日本	日本	京都	食
5	小池 信也	レストラン酒蔵阿吽 共同経営者兼総料理長	日本	ブラジル	サンパウロ	食
6	小林 金二	北京威善飲食有限公司 副総経理 / 総料理長	日本	中国	北京	食
7	ジヨン ゴントナー	Sake World Inc 社 代表取締役	米国	日本	神奈川	食
8	ミーシャ ジャネット	ファッションジャーナリスト、スタイリスト、ブロガー	米国	日本	東京	ファッション
9	末次 庸介	のんべえ大学 店主	日本	ベルギー	ブリュッセル	食
10	アンア ステファニアク	東京藝術大学 博士課程	ポーランド	日本	取手	デザイン・芸術
11	田中 伸二	TANAKA オーナーシエフ	日本	スイス	ベルン	食
12	田村 隆	つきぢ田村 三代目	日本	日本	東京	食
13	陳 海騰	東和(株) 代表取締役社長	中国	日本	東京	観光・文化
14	辻 芳樹	学校法人辻料理学館 理事長 / 辻調理師専門学校 校長	日本	日本	大阪	食
15	ファビアーニ デイレッタ	音楽ジャーナリスト / 早稲田大学大学院 博士課程	イタリア	日本	東京	音楽
16	長島 博	東京エアपोर्टレストラン取締役執行役員 / 総料理長	日本	日本	東京	食
17	ニール ハートマン	IAC社 ダイレクター / 社長	米国	日本	札幌	メディア
18	服部 幸應	学校法人服部学園 理事長	日本	日本	東京	文化
19	浜 哲郎	Jem Ltd 会長 / So Restaurant オーナー / Sozai Cooking School オーナー / Japanese Culinary Academy UK 理事長 ジャパン・ソサエティ 理事	日本	英国	ロンドン	食

クールジャパン・アンバサダー②（H28.11現在）

	名前（敬称略）	肩書き	出身	居住地		分野
				国	都市	
20	グレブ バルトロメウス	木屋旅館 セールス&マーケティングマネージャー	ポーランド/ドイツ	日本	宇和島	文化・観光
21	マーティン バロウ	茶道裏千家淡交会英国協会 名誉会長 ジャパン・ソサエティ 前副会長	英国	英国	ロンドン	観光
22	フランチェスコ フィオレ	Axxe社 代表取締役社長	イタリア	英国	ロンドン	文化
23	深澤 宗昭	レストランフジ オーナーシエフ	日本	ペルー	リマ	食
24	ベンジャミン ボアズ	翻訳家、作家、慶應義塾大学 訪問研究員 (一社) 中野区観光協会 観光大使	米国	日本	東京中野区	観光
25	エドガル サンティアゴ ペラエズ マザリエゴス	早稲田大学大学院 博士課程	メキシコ	日本	東京	観光
26	松 秀二郎	JPN Mart社 代表取締役社長	日本	英国	ロサンゼルス	食
27	三宅 洋子	公益社団法人日本料理研究会 会長	日本	日本	東京	文化
28	ダルシヤン ムニダーサ	日本ばしレストラン オーナーシエフ	日本/スリランカ	スリランカ	コロンボ	食
29	村田 吉弘	菊乃井 主人	日本	日本	京都	食
30	ロッセッラ メネガッツ	国立ミラノ大学 准教授	イタリア	イタリア	ミラノ	芸術・デザイン・ファッション
31	毛 丹青	神戸国際大学 教授	中国	日本	神戸	文化
32	山本 晴久	(株)デンバー豆腐 創設者/前社長	日本	米国	デンバー	食
33	ステイブリン ライマン	日本酒造組合中央会 ニューヨークサポートデスク	米国	米国	ニューヨーク	食・日本酒
34	李 容淑	関西国際大学 客員教授/学長特別補佐	韓国	日本	大阪	観光
35	アンドリュー リード	William Reed Business Media 社 イベント&エクシビジョン マネージング・ダイレクター	英国	英国	ロンドン	食・日本酒
36	ジョージ リム	プロデューサー/観光コンサルタント	シンガポール	シンガポール	シンガポール	観光
37	ティファニー リム	ライター	フィリピン	日本	東京	マンガ・アニメ
38	ポール・クリスティアー	Walk Japan CEO	英国	日本	大分	観光

クールジャパン・地域プロデューサー（H28.11現在）

名前（敬称略）	所属・肩書	活動分野
1 朝比奈 一郎	(一社) 日本と世界をつなぐ会 代表理事	インバウンド、その他
2 伊勢田 博志	NPO法人ツーンリズム研究機構 副理事長	インバウンド、食
3 井上 俊彦	(一社) 札幌・北海道コンテンツ戦略機構 代表理事	食、コンテンツ、インバウンド、スポーツ
4 遠藤 洋平	㈱丸加 取締役第2営業部部长	ファッション
5 大塚 隆博	クール北海道㈱ 執行役員	食
6 小川 伸司	㈱オーシスジャパン 代表取締役社長	食、デザイン
7 加藤 文男	㈱ちば南房総 取締役	コンテンツ
8 小島 慶藏	伊藤忠商事㈱ 福井事務所長	食、インバウンド
9 櫻井 亮太郎	㈱ライフブリッジ 代表取締役	インバウンド
10 佐藤 靖也	㈱WPPC 代表取締役	食、デザイン
11 篠原 靖	跡見学園女子大学観光コミュニケーション学部 観光デザイン学科 准教授	インバウンド、コンテンツ、その他
12 島田 昭彦	㈱クリップ 代表取締役社長	デザイン
13 志村 幸一郎	てんぷら小野 店主	食
14 陳内 裕樹	グループ㈱ 観光立国推進部長	インバウンド
15 武智 美保	㈱ミホプロジェクト 代表	インバウンド
16 達山 源市	㈱ゲン 代表取締役	デザイン、コンテンツ、インバウンド、その他
17 田村 啓	TOMBO PROJECT代表 / (一社) 元気ジャパン プロデューサー	インバウンド

名前（敬称略）	所属・肩書	活動分野
18 千葉 大貴	㈱マイティー千葉重 代表	食、インバウンド、その他（ウェアラブルケティング）
19 箭内 武	㈱YANAI総合研究所 代表取締役社長	その他
20 ドミトリ・ブーラフ	㈱XPJP プロデューサー	食、インバウンド、コンテンツ
21 本田 勝之助	本田屋本店(有) 代表取締役	食、デザイン、ファッション、インバウンド
22 三宅 曜子	㈱クリエイティブ・ワイズ 代表取締役	食、デザイン
23 本井 晃一	㈱JICS 代表取締役社長	その他
24 森本 登志男	佐賀県 最高情報統括監(CIO)	コンテンツ
25 森本 康敬	加賀市観光交流機構 誘客事業部長 / 片山津温泉旅館「ホテル森本」代表取締役	インバウンド
26 山田 桂一郎	JTIC.SWISS 代表	インバウンド
27 山田 拓	㈱美ら地球（ちゅらぼし）CEO	インバウンド
28 山本 牧子	MPIジャパンチャプター 会長	インバウンド
29 吉井 靖	㈱うぶすな 代表取締役	インバウンド
30 寓谷 浩幸	加賀温泉郷フェス実行委員長 / 山代温泉よろづや観光㈱代表取締役社長	コンテンツ
31 渡邊 賢一	株式会社 XPJP エクスぺリエンス・デザイナー / 一般社団法人 元気ジャパン ソーシャル・プロデューサー	インバウンド
32 渡邊 法子	アイ・エス・ケー合同会社 代表	インバウンド
33 西田 陽一	おんせん県観光誘致協議会 会長	インバウンド